

12 月 26 日：VN 指数は一転して下落基調 (VN-Index -0.09%)

- 市場全体で大幅高となった昨日に続き、本日の VN 指数は前日終値を上回って開始したことで、更なる上昇が期待された。
- しかしながら買い方優勢の動きはその後続かずに弱まり、指数は徐々に下落し始めて終値を下回った。
- 後場では、何度か上昇を試みる買いの動きがみられたものの、投資家の様子見ムードが高く、下落圏で推移したまま大引けとなった。
- セクター別では、メディアや保険セクターが軟調だった一方で、電力、ヘルスケアセクターが相場を下支えした。
- 186 銘柄が上昇、227 銘柄が下落、70 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は大幅に下落し、25.9%減の 13.7 兆ドンとなった。

VN30 指数はわずかに上昇 (VN-30 +0.01%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、11 銘柄が上昇、15 銘柄が下落、4 銘柄が変動なしであった。
- SSB (-2.03%)、BVH (-1.87%)の下落が顕著であった。
- 一方で、VIB (+2.86%)、STB (+2.34%)により指数の上昇は保たれた。

セクター・個別株の動き

- SGN(+2.79%)の取締役会決議によると、同社は建設中のロンティン国際空港で 7,900 億ドンのプロジェクトを実施するコンソーシアムを率いる。同社は合弁会社の 75%を出資する。
- YEG (-6.90%) は、人気 TV 番組の第 2 シーズンの結果が期待を上回らなかったとの発表を受けて、ストップ安となった。同社の株価は前日までに 7 日連続の急騰でほぼ 2 倍をつけていた。
- 外国人投資家は 3,651 億ドンを売り越した。VCB (-0.32%)に投資家の売りが殺到した一方で、買い越し方向の動きは穏やかであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。